

Harmony among People,  
Technology, and Environment.



株主の皆様へ

## 第89期 営業のご報告

令和 3 年 4 月 1 日から  
令和 4 年 3 月 31 日まで

### CONTENTS

---

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6

---



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



## 高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

## トップメッセージ



代表取締役社長

黒木 幹也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

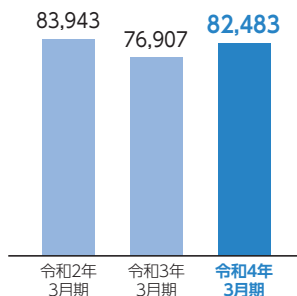
当社グループの第89期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

### 令和4年3月期の業績概況について

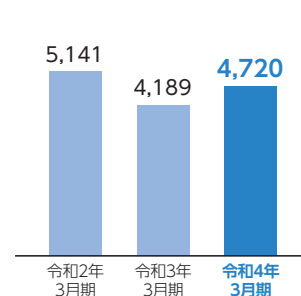
当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞に加え、半導体

## 連結財務ハイライト

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



不足や原材料費の高騰、また、ウクライナ情勢に端を発する地政学リスクの高まりにより資源価格が高騰するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は824億83百万円(前期比7.2%増加)、営業利益は47億20百万円(前期比12.6%増加)、経常利益は54億3百万円(前期比13.2%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は41億49百万円(前期比17.9%増加)となりました。

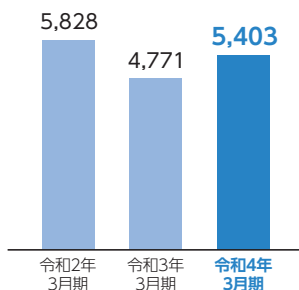
## 次期の見通しと今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、ウクライナ情勢の悪化によるさらなる資源価格の高騰や新型コロナウイルス感染再拡大時における経済活動の制限など、不確定要素が多く、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。このような状況のもと、当社グループは、業績回復のための取り組みを推し進めながら、「人と技術と環境の調和」という企業理念のもと、中期経営計画「チェンジ&チャレンジStage II」に掲げた、持続的成長に向けた5つの成長戦略である「事業拡大」・「人材育成」・「機能整備」・「戦略投資」・「社

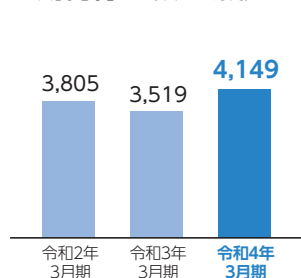
会調和」の着実な実行により、急速に変化する事業環境にも対応することができるサステナブルな経営基盤を構築し、さらなる企業価値の向上をはかってまいります。

ガス事業は、ユーザーの変化に対応すべく、当社グループ各社との連携を一層深めながら、地域に根付いた事業展開によりシリンドラガスビジネスのさらなる収益力の強化をはかるとともに、安全・安心を第一に掲げ、新設備の導入を含めた技術力の向上に努め、工場設備のリニューアル、事業場の新設や統合、容器の投入により安定供給及び物流の合理化を進め、事業拡大をはかってまいります。また、新たな事業展開をめざし、積極的なM&A、真空浸炭向け溶解アセチレン、エアゾールガス、農業用炭酸ガスの新規需要先の獲得や食品、溶接等多岐にわたるユーザーの開拓を進めてまいります。カーボンニュートラル社会への転換として期待されている、環境負荷の低い液化アンモニアや水素ガス等の供給網整備や環境に配慮した新冷媒ガスの拡販など、新しい用途やアプリケーションの提案を行なってまいります。土浦研究所では、水素蓄圧器などの各種容器の開発による他社製品との差別化や難燃剤などの開発、また、産学共同連携を推進し、カーボンナノチューブなど付加価値の高い製品の市場投入、量産化技術の確立をめざしてまいります。海外展開においては、資本参加したベトナムの高圧ガス事業会社を拠点に東南アジア地域への販路の開拓を行ないまます。また、国際情勢の悪化や海上輸送の混乱に対す

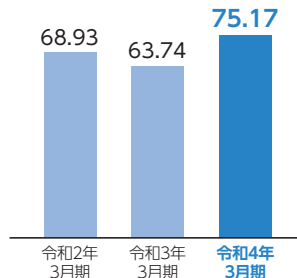
経常利益 (単位:百万円)



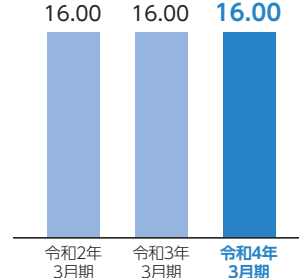
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



る輸入品の安定調達のための体制の構築を進めてまいります。

化成品事業は、DX化による業務の効率化、原材料・製品在庫の最適化、容器管理、製造・物流の合理化を行なうとともに、BCPを念頭に置いた原材料購入体制、生産体制を確立してまいります。また、将来的なカーボンニュートラルの実現を目標に環境配慮型の原材料、再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、研究開発、営業開発に注力して、市場ニーズに合った環境にやさしい製品の提供に努めてまいります。接着剤市場においては、住宅設備、自動車、弱電、医療分野へ積極的に高付加価値品を投入するとともに、当社グループのネットワークを活かし、幅広い分野での新規ユーザー開拓を行なってまいります。また、雨音、振動を低減させる効果のある制振材「サウンドプルーフ」は快適な生活環境の提供を目的とし、公共の施設をはじめ、遮音性が求められる建物等向けに拡販してまいります。塗料市場においては、既存住宅の改修需要に対応した、外壁サイディングボード用の「WBアートSi」・「ウォールバリアシリーズ」・「ビーズコート」、屋根用の「ルーフバリア」の拡販を推し進めるとともに、今後もユーザーニーズに合った環境配慮型の製品開発を進めてまいります。エアゾール市場においては、生産能力の拡充により、多種多様な用途への展開をめざしてまいります。海外市場においては、ベトナム工場を拠点として、当社グループ会社との協業で中国・東南アジアへの接着剤、塗料の市場開拓を進めてまいります。

その他事業は、ITソリューション事業においては、半導体及び樹脂製品の不足による長納期化の懸念もありますが、鉄道業界、産業機器業界を主な営業対象とし、表示機能を搭載したLSI

カード、ディスプレイタグ等の電子ペーパー応用製品、RFタグ関連製品及び画像記録装置等のさらなる拡販を進めるとともに、IoT分野への企画・提案を積極的に行ない、新規開拓をはかってまいります。また、食品添加物事業においては、社会のニーズに応じた食品及び食品添加物の拡販及び展開を行なってまいります。

## 株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかることを基本方針とし、経営成績・財務状況等を総合的に勘案し決定しております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当金8円とさせていただきます。令和3年12月10日に1株につき金8円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計16円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

## 株主の皆様へ

当社グループといたしましては、引き続き「安全」・「安心」をすべての基本姿勢として、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、社員一人ひとりが持つ能力を最大限発揮し成長することができるための企業風土の醸成ならびに組織体制の整備をはかり、組織の活性化に努めてまいります。

また、企業理念、企業倫理行動指針に基づいたコーポレート・ガバナンス体制の整備と強化に真摯に取り組んでまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

### 令和5年3月期 連結業績予想

売上高	870億円
営業利益	51億円
経常利益	56億円
親会社株主に帰属する当期純利益	38億円



## 事業別の概況



### ガス事業

売上高 **609億65** 百万円  
営業利益 **44億52** 百万円



売上高 (単位:百万円)  
令和4年3月期 **60,965**  
令和3年3月期 57,298

営業利益 (単位:百万円)  
令和4年3月期 **4,452**  
令和3年3月期 4,128

『溶解アセチレン』は、現場関係及び造船業界向け需要が減少したものの、自動車関連向け需要が回復し、売上高は前期並みとなりました。『その他工業ガス等』は、酸素が新規及びスポット需要の獲得、窒素が半導体及び食品向け需要の回復、アルゴンが新規獲得及び需要の回復、炭酸ガスがプラントメーカーの出荷量増加及びドライアイス向け需要の回復、冷媒ガスが自動車向け新規獲得、また、LPガス等の石油系ガスが入札案件獲得と輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇によりそれぞれ増加し、売上高は前期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、新規獲得や設備工事、工作機械等の受注が回復し、売上高は前期を上回りました。『容器』は、消火設備装置向け容器及び一般工業用向け容器が減少し、売上高は前期を下回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は609億65百万円(前期比6.4%増加)、営業利益は44億52百万円(前期比7.8%増加)となりました。



### 化成品事業

売上高 **185億1** 百万円  
営業利益 **15億72** 百万円



売上高 (単位:百万円)  
令和4年3月期 **18,501**  
令和3年3月期 16,876

営業利益 (単位:百万円)  
令和4年3月期 **1,572**  
令和3年3月期 1,476

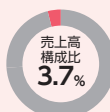
『接着剤』は、ペガールが、新製品の開発により、紙用及び粘着用が増加し、また、需要先の業況回復により塗料用、建築用、繊維用の需要が増加、シアノンが、欧米向けに医療用・工業用高付加価値品、南米・韓国向けにコンシューマー用の需要が増加、ペガロックが、国内、海外向けの需要が増加し、売上高は前期を上回りました。『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や「ビーズコートシリーズ」の伸長、また、エアゾール製品は需要が回復し、売上高は前期を上回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は185億1百万円(前期比9.6%増加)、営業利益は15億72百万円(前期比6.4%増加)となりました。



### その他事業

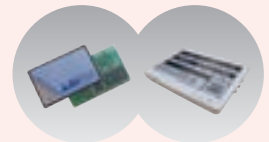
売上高 **30億15** 百万円  
営業利益 **55** 百万円



売上高 (単位:百万円)  
令和4年3月期 **3,015**  
令和3年3月期 2,732

営業利益 (単位:百万円)  
令和4年3月期 **55**  
令和3年3月期 △8

その他事業では、ITソリューション事業は、電子ペーパー関連、RFタグ関連が半導体及び樹脂製品の不足による納期遅れの影響を受けましたが、LSIカード関連の需要が増加し売上高は増加しました。また、食品添加物事業は原産国での気候変動、労働力不足や輸送費の高騰等の影響を受けたものの、コンビニ向け製品原料としての需要が増加し、売上高は増加しました。その結果、当事業の売上高は30億15百万円(前期比10.3%増加)、営業利益は55百万円(前期は8百万円の営業損失)となりました。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	第88期 (令和3年3月31日現在)	第89期 (令和4年3月31日現在)	増減額
流動資産	49,839	54,975	5,136
固定資産	42,570	43,424	854
流動負債	23,163	25,681	2,518
固定負債	5,834	6,816	981
純資産	63,412	65,901	2,489
総資産	92,410	98,400	5,990

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第88期 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)	第89期 (自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	4,961	5,795	834
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,575	△3,818	△242
財務活動による キャッシュ・フロー	△988	583	1,571
現金及び現金同等物 の期末残高	21,156	23,672	2,516

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第88期 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)	第89期 (自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)	増減額
売上高	76,907	82,483	5,576
営業利益	4,189	4,720	530
経常利益	4,771	5,403	631
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,519	4,149	630
1株当たり当期純利益	63円74銭	75円17銭	11円43銭

※「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度の期首から適用しております。

## 期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金8円となりました。

期末配当金 1株につき金8円 総額441,632,608円

支払開始日 令和4年6月27日

# 会社情報

## 会社概要 (令和4年3月31日現在)

商号	高压ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	848名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	21カ所
出張所	4カ所
工場	15カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)
研究所	2カ所

## 役員 (令和4年6月24日現在)

### 取締役

取締役会長	澁谷 信雄	取締役常勤監査等委員	松井 良祐
代表取締役社長	黒木 幹也	社外取締役監査等委員	笹野 哲郎
代表取締役副社長	説田 和洋	社外取締役監査等委員	山村 忠夫
取締役	杉岡 孝雄	社外取締役監査等委員	長島 広明
社外取締役	吉高 紳介		

### 執行役員

社長執行役員	黒木 幹也	執行役員	片岡 一夫
副社長執行役員	説田 和洋	執行役員	野杵 達也
専務執行役員	杉岡 孝雄	執行役員	加藤 尊康
専務執行役員	森本 孝	執行役員	中村 顕
専務執行役員	森田 和博	執行役員	岡本 健二
常務執行役員	池田 佳弘	執行役員	福井 雅則
常務執行役員	福井 正郎	執行役員	高山 昭彦
執行役員	大北 隆行	執行役員	中村 貴雄

### 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## 株式の状況 (令和4年3月31日現在)

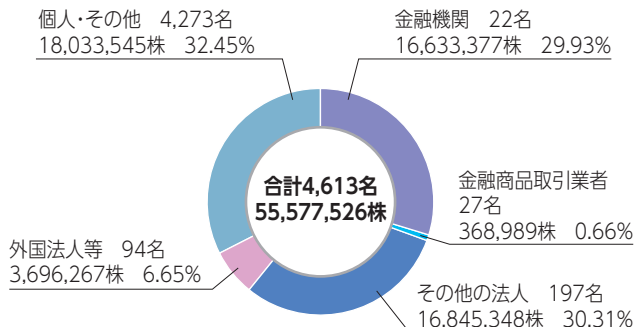
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	4,613名(前期末比141名増加)

## 大株主 (令和4年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
こうあつ共栄会	7,215	13.07
デンカ株式会社	6,906	12.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,009	7.26
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
日本酸素ホールディングス株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
高压ガス社員持株会	1,622	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,197	2.16
北陸工業瓦斯株式会社	886	1.60

(注)持株比率は、自己株式(373,450株)を控除して算出しています。

## 所有者別株式分布状況 (令和4年3月31日現在)



## 株主メモ

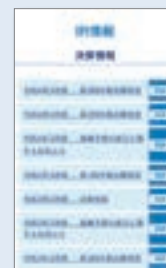
事業年度末日 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
定時株主総会基準日 毎年3月31日  
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
1単元の株式の数 100株  
株主名簿管理人 〒100-0005  
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL  
<https://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。  
ぜひ、ご覧ください。

<https://www.koatsugas.co.jp/>



高圧ガス工業

検索



## 高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)  
電話 06(7711)2570(代表)  
<https://www.koatsugas.co.jp/>



UD FONT  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。